

いじめ問題解決に向けた各校の取組の報告

(学校名 藤岡市立美九里西小学校)

1 いじめ問題解決に向けた私たちの取組名

ありがとうから やさしさを広げよう

2 「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

美九里西小では、人権集中学習を前・後期の年2回設定しています。6月13日(火)～23日(金)を前期：人権旬間とし、人権旬間テーマ『ありがとう』感謝を伝えて いい笑顔の下、児童会と各学級で話し合い、人権について考えました。そして、全校で様々な活動に順次取り組んでいくこととしました。

下記のような活動を通して、思いやりの心を育て、いじめのない学校づくりに一人一人が取り組み、楽しい学校生活を送れるようにしています。



人権旬間オープニング集会

児童玄関前の掲示物

3 共通の取組

① 「スマイルハイタッチあいさつ運動」

10年前から、毎日校長先生が中心となって校門でのスマイルハイタッチを行い、子どもたちの元気の良い「おはようございます！」の音が響いています。今年度も「地域でふれあうあいさつ運動」を年2回実施し、地区ごとに分担して、1年生から6年生までの全員の児童が、笑顔あふれるあいさつ運動を行いました。区長さん、民生委員さん、更生保護女性会の皆さんやPTAの皆さんと一緒にあいさつ運動に取り組み、子どもたちが保護者や地域の人々に元気に、笑顔で進んであいさつができるように呼びかけてきました。今年度も「相手の目を見て、自分から」を心がけました。



② 「HAPPYはあとふるツリー運動」

本校では「思いやりの木運動」として取り組んでいます。友達のよいところや、友達にしてもらったうれしいことをカードに書き、児童玄関に設置した「思いやりの木」に貼りました。毎年取り組んでいるため、子どもたちは積極的にたくさんいいことを見つけ、思いやりのある行動を書き込むことができます。今年度は、ブロックごとに違う果物のカードに書いたため、見た目にもかわいらしい木になりました。さらに、普段から多くの学年の帰りの会で「友達のいいところ探し」を発表しており、人権月間だけで終わることなく、日常的に継続して取り組むことができます。

たくさんのおもひやりの実



③ 「見えづらいじめのを見つけ方といじめを見つけた時の対応の行動目標」

人権集会の中で、バースデーラインを行い、ジェスチャーでコミュニケーションを取りながら、お互いの誕生日を伝え合いました。上級生が下級生を助けながら、活動を進めることで、上級生としての自覚が生まれ、また、お互いの誕生日を知ることで、誰もがかけがえのない大切な存在だということを確認することができました。



バースデーラインが完成しているか確認しながら、児童会が全員の誕生日をインタビューしていきます。

4 私たちの取組

(1) 縦割り班活動

異学年交流を通して、思いやりの気持ちを育てるために、縦割り班活動を行っています。毎日の清掃活動、毎月第1水曜日に開催している児童集会(委員会活動報告やゲーム)、毎月第4木曜日に開催している代表委員会など、いろいろな場面で縦割り班での活動を行っています。清掃の時間には、下級生にやさしく丁寧に教えてあげる上級生の姿や、お互いに助け合っている姿などが見られました。これらの活動を通して、自分たちの学年だけでなく他の学年の児童とも交流が深まり、思いやりにあふれた人間関係が育まれています。



(2) 人権月間

11月15日(水)～12月8日(金)を後期：人権月間とし、人権月間テーマ「思いやり ひとりひとりがもつ気持ち」の下、自分のよさや、ともだちのよさを見つけお互いに相手を思いやる行動について考えました。まず、人権に関わる校長先生の講話を聞き、クラスごとに「思いやり宣言」を書いて教室に掲示しました。この宣言を人権月間の行動目標として取り組みました。最後に、人権集会を行い、約1カ月間の取組で自分や周りにいる人をより大事にしようとする人権意識を高めました。



人権月間オープニング集会



校長先生が、思いやりについてお話の中で、各学年での取り組みを紹介してくれました。みんな自然に「思いやり」をもった行動をしていることに気づきました。

(3) 児童会による人権劇

児童会役員がこの日のために企画・台本準備をしてきた、児童主体の人権集会です。集会では、「思

いやり ひとりひとりがもつ気持ち」をテーマにした劇を行いました。劇を通して、全校児童で課題意識を持つことで、よりよい人間関係を構築しようとする意識を高め、「もっと仲のいい西小を築いていきたいな」と感じさせることができました。



なにげない一言で相手を傷つけてしまった時どうすればよかったのかを考える人権劇。児童会考案です。最後には、感想を児童にインタビューして、みんなで振り返ります。

(4) 全校レクリエーション

本校では、普段から異学年で仲良く遊ぶ姿が見られます。人権月間中の全校レクリエーションでは、6年生が国語の時間に学習したことを生かして、遊びを計画し、全校で取り組みました。また、体育委員会でも全校レクリエーションを企画し、職員も一緒に楽しみました。遊びを通してさらに友達のよさや協力することの大切さを感じることができる機会になり、これからも仲良くしていこうという思いを持つことができました。



全校ケイドロ



全校へびじゃんけん



全校オリエンテーリング

5 取組のまとめ

(1) 取組の成果

- 縦割り班での活動の充実により、学年に関係なく休み時間に遊んだり、声を掛け合ったりすることがごく自然にできています。高学年の児童がリーダーシップを発揮して、低学年の児童に自分から手助けしたり、声掛けをしたりするなど思いやりの心も育ちました。
- 児童会役員や各委員会が児童集会等を企画・運営することで、「自分たちが学校のためにがんばっている」、「自分たちの企画・運営により、皆が楽しんでくれている」という自己有用感を育むことができました。

(2) 今後の課題

- 本校の児童一人一人が、自信を持っていつも笑顔で元気に過ごせるよう、「失敗しても大丈夫」と思えるような温かな人間関係づくりを、児童会を中心に、より一層充実させていきたいと考えています。また、全校児童の声に耳を傾けながら、今後も児童主体の活動を企画・運営していきたいと思えます。

いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立美九里西小学校

月	学校の取組	一貫校での取組
4月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	
5月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	
6月	・人権旬間 （クラスでの話し合い、思いやりに関する道徳の実施、人権標語作成、人権ソング） ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・いじめ問題解決に向けた子ども会議実行委員会①	・地域でふれあうあいさつ運動
7月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・hyper-QU 実施（1回目） ・SOS の出し方の授業（6年） ・長期休業前の話の中で、生徒指導担当教諭から夏休みの過ごし方についての話	
8月	・始業式にて、コロナ禍における友達との関わり方についての話	
9月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	
10月	・いじめ防止フォーラム ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	
11月	・人権月間 （HAPPYはあとふるツリー運動） ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・hyper-QU 実施（2回目）	・いじめ問題解決に向けた教育懇談会 ・東人権サミット
12月	・人権月間 （HAPPYはあとふるツリー運動、登校班を中心としたあいさつ運動、全校レク児童会を中心とした人権集会の実施） ・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・長期休業前の話の中で、生徒指導担当教諭から冬休みの過ごし方についての話 ・いじめ問題解決に向けた子ども会議実行委員会② ・児童集会にて東人権サミットの内容の伝達	・地域でふれあうあいさつ運動
1月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・いじめ問題解決に向けた子ども会議への参加	・いじめ問題解決に向けた子ども会議
2月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	
3月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	・あいさつすごろく